

第10回「趣味について」

子どもの頃から相撲が好きで、上級生と相撲をとっても負けませんでした。齋藤前町長からは、「精ちゃんは相撲が強かったなあ」と言われたことがあります。下田北高校柔道部に入り主将を務めました。強い部ではありませんでした。当時は体重別ではなく、63kgの私は90kg超の人と試合をし限界を感じていた頃、テレビで小柄なはかま姿の人がプロレスラーを投げているのを見て、「インチキだな」と思ったわけですが、さらに見ていたら、小柄な人の技でプロレスラーが膝から崩れているのがわかり、「これは本物だ」まさに「柔よく剛を制する武道だ」と思い、はかま姿の武道をやりたいと思ったのが合気道を始めたきっかけでした。法政大学で合気道をやり、ここでも主将を務めました。静岡銀行に入り全く余裕がなく、合気道はできなくなったわけですが、静岡不動産に移ってから西伊豆合気会をつくり、松崎高校龍門館で毎週日曜日に稽古をし、今年で10年になります。柔道・合気道という武道を、高校・大学でやり通したことは、私の人生において肉体的・精神的に大きなバックボーンになっています。特に、講道館柔道創始者である嘉納治五郎先生の根本精神である「自他共栄」という言葉を心に刻み、今後も町政運営に当たっていきたいと思っています。

10月7日（日）15時から、環境改善センター文化ホールで「西伊豆合気会10周年記念演武大会」を举行します。

もう一つの趣味は「そば打ち」です。そば打ち歴は20年になり、機会があったら紹介したいと思います。